

## 沢井製薬との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、沢井製薬株式会社（以下、「沢井製薬」）を割当先の1社とする第三者割当増資を実施するとともに、業務提携を開始いたしました。

### <当社の取り組み>

当社は、医療用アプリやブロックチェーンの医療応用についての各種特許を有し、技術に立脚したデジタル医療を推進する研究開発型企業です。不眠症治療用アプリを始めとする「医療用アプリ開発」「医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの提供」「臨床開発支援システムの提供」及び「AI自動解析システムの提供」による事業展開を行っております。

「医療用アプリ開発」においては、不眠症治療用アプリをはじめとするプログラム医療機器のシステム開発及び臨床開発を実施し、医療現場のアンメットニーズの解消に向けた新たな治療モダリティの開発を行なっております。また、自社製品の開発の中で蓄積した知見を活用し、「医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの提供」として、製薬企業等に対しデジタル医療の開発を支援するためのプラットフォーム提供も行なっております。

「臨床開発支援システム」の提供においては、治験・臨床研究を効率化するためにブロックチェーン技術等を活用したシステムを提供しており、製薬企業等における治験・臨床研究を支援しております。

### <業務提携の意義>

沢井製薬は、持株会社体制への移行にあたり、基盤であるジェネリック医薬品事業に加え、人々の健康に一層貢献できる事業への参入を検討しております。今後、より多面的に人々の健康に寄与していくため、IT技術を活用したソリューションの提供を目指される中で、当社の技術力とノウハウ、および、将来性を高く評価していただき、それらと沢井製薬の事業を融合させた協業についてより幅広く検討を行っていく観点から、このたびの資本参加を決定していただきました。

沢井製薬と当社は、ブロックチェーン技術の医療応用(※)による研究開発費の削減をはじめ、アプリを利用した服薬管理技術の活用、AI自動解析システムの活用による業務の効率化などでの協業について検討を行うことを合意しています。

#### ※ ブロックチェーン技術の医療応用とは

当社では、特許取得済みの複数の技術とデータ改ざんが困難であるブロックチェーン技術を組み合わせたシステムを構築しており、医療分野において利用することで、従来の方法よりもセキュリティレベルを向上させると同時に、費用対効果が高く、かつ正確性が担保されたデータ管理の実現を目指しています。また、当社は、ブロックチェーン技術の医療応用の一環として、生産性向上特別措置法に基づく新技術等実証制度（いわゆる「規制のサンドボックス制度」）の認定を2019年4月に受け、国立研究開発法人国立がん研究センターと共同で、ブロックチェーンを活用した臨床試験のモニタリングを実施し、モニターが医療機関を訪問し原資料と報告用資料の照合を行わなくとも、データの信頼性が担保されることを実証し、論文を発表しております<sup>1</sup>。

1: <https://www.jmir.org/2020/6/e18938/>

### <沢井製薬について>

名称： 沢井製薬株式会社  
所在地： 大阪府大阪市淀川区宮原五丁目2番30号  
代表者： 代表取締役社長 澤井 健造  
設立： 1948年  
会社URL： <https://www.sawai.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>  
サスメド株式会社  
E-mail: support@susmed.co.jp

以 上